

名都借の木



2022年7月9日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000

新しい生活様式

2020年に新型コロナウイルスが猛威を振り始めてから、世界でさまざまな対策がとられました。結果的に日本は感染者や死亡者が少ないようです。これは当初から提示されていた「3密を避ける」「マスク」「手洗い」が効を奏し、さらにワクチンの効果が加わったためです。

厚生労働省の”新型コロナウイルス感染予防のために”というホームページに、この季節に必要な熱中症への対応についても、2m離れてマスクをはずす、などわかりやすいチラシがあります。これらを参考に、安全にお出かけしてみると良いかもしれません。



歴史と散歩を

木の図書館周辺で現存している遺構は、古いものだと板石塔婆がおもなものになります。なお遺構は私有地にあるようなので、現地で見えることは出来ないようです。

詳細については「流山市史 民俗編」や「流山の石仏」をご覧ください。

名都借の台地から東部中へ下るあたりと、前ヶ崎の細長い台地が国道6号線に接するあたりに、鎌倉、南北朝、室町時代の遺構が確認されています。

このあとの時代には、東部地域で享徳の乱にもなう戦が起こります。詳しくは「ふるさと流山のあゆみ」をご覧ください。



木の図書館

さまざまな歴史を秘めた東部地域ですが、今は自然に囲まれています。遠い昔に思いをはせながら、散歩するのはいかがでしょうか。

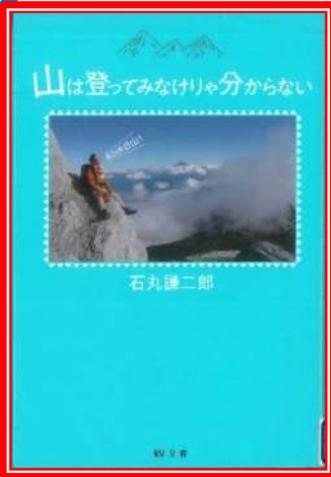
「流山の石仏」
(流山市立博物館, 1987年刊)



ちょっとおでかけしたいですね



この本もおすすめてです！



石丸 謙二郎／著
『山は登ってみなけりゃ
分からない』（敬文舎）

～ 山から届くはがき ～

お日さまが、高い軌道を描く
ようになってまいりました。

「少し日常をはなれて、外出
したいな」という方にも、また、
「行ったつもりで、お家で楽し
みたいな」という方にも、おす
めの本を、ご紹介します。

一冊目は山のエッセイです。俳優の石丸謙二郎さんが山で見聞きたことや、山の楽しみ方、山に関する知識などを、短くも味わい深い文章で伝えてくれる、どこからページを開いても楽しい一冊です。眺めてよし、歩いてよしの山々へと、私たちを導いてくれる声が聞こえます。



伊藤 まさこ／著
『美術館へ行こう
ときどきおやつ』
（新潮社）



池田 等／著
『原寸で楽しむ
美しい貝図鑑&採集ガイド
大人のフィールド図鑑』
（実業之日本社）



他にこんな本もあります！



身近な自然も、カメラのレンズごしに、焦点をあわせ、切り取ることで、花や草木や水のしずくからも、小さなドラマが生まれてくるようです。

石井 孝親／写真と文
『デジタルカメラ小さな自然の写し方
あなたの足元に絶景はある』
玄光社 MOOK（玄光社）



全国の主だった水族館が、人気の動物とともに、紹介されています。どのページも、愛くるしい生き物達の写真が満載です。コロナ禍の中で、飼育員さんに、大事に守られてきたたいせつな命をご覧ください。

『水族館めぐり』（G.B.）

木の図書館イベント情報

今年度、木の図書館では、「ゲームの日」を、開催しています。

トランプなどのカードゲームや、ボードゲームなどを、一緒に楽しみませんか？

記念すべき第1回目、5/22(日)の「ゲームの日」には、小さなお子様連れのご家族が参加されて、トランプやUNO、漢字の部首を合わせるカードゲームをスタッフとの会話も楽しみながら、ゆっくりと、遊んでいただきました。

次回開催は、7/17(日)です。その後、11/20(日)、2/19(日)の開催実施を

予定しています。参加申し込みは不要です。木の図書館1階ロビーで、

みなさまのご参加をお待ちしております。



子どもの木



?に挑戦してみよう!

身近にあるいろいろな「ふしぎ」に挑戦してみませんか？
本とおなじ結果になるのかな？もっと違うやり方があるかも？
挑戦したら、ぜひ図書館の人にもどうなったか教えてね♪



紙を折ったり、切ったり、
まるめたり…
筒状に紙をまるめるとき、この
本にのっている写真みたいにおおきな石がのるか自分で
ためしてみませんか？

『しろいかみのサーカス』
たにうちつねお/さく いちかわかつひろ/しゃしん (福音館書店)



毎日ふれる水のふしぎ。
どうしたらういて、
どうしたらしずむのか、
実験してみよう！
1円玉をうかすのはコツを
つかむと楽しそう♪

『リトルサイエンス8 うかせてあそぼう』
牧衷/構成・文 関戸勇/写真 (偕成社)



身近な回るものって何かな？
工夫次第で変わる回り方を
調べてみるのもおすすめ！
時計の作り方も2種類のって
いるので、ぜひ挑戦してみて!!

『理論社版 NHKやってみようなんでも実験第2集⑤
なぜ回る？コマの不思議・手づくり時計をつくろう』
米村傳治郎/監修 福田和弥・佐々木勝浩/実験指導
理論社企画室・小宮山民人/編 (理論社)



食べるのが好きなキミに
ピッタリの本です。
おいしい「ふしぎ」に
挑んでみよう♪

『理系脳をつくる食べられる実験図鑑』
中村陽子/著 (調理・レシピ考案) 宮本一弘/監修
(主婦の友社)



楽しい夏休みにするために 夏休みの宿題に関する 図書館の貸し出しはお早めに!!

自由工作や自由研究、読書感想文課題図書は、
ご利用になる方が毎年多くいらっしゃいます。

1人でも多くの方が利用できるように、**早期のご予約をおススメ**しております!

夏休み後半は
あそびたいな~



これからの木の図書館

連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

夏休み期間中は毎日開館します

流山市立図書館では、7月21日～8月31日のあいだ、毎日開館します。日曜日、月曜日、祝日、月末日は17時まで開館します。くわしくはお配りしているカレンダーをご覧ください。

郷土へのいざない vol. 32

～信仰のかたち (1) 東部地域の庚申塔

かつては干支を使った年月日の表し方が広く行われていました。庚申(かのえさる)にあたる日は人間の体のなかにいる虫が閻魔大王にその人の悪い行いを報告しに行くという言い伝えがありました。しかしこの虫はその人が眠ってから天に登るため、その夜は寝なければ大丈夫と信じられており、夜通し勤行をしたり、宴会を開いたりしました。



前ヶ崎香取神社のいろいろな碑
(白丸が寛文2年建立の庚申塔)

これが庚申講とか庚申待と言われる風習です。

庚申講を記念して建てられた板碑や石塔は数多く流山市内にあるものを調査した結果は「流山庚申塔探訪」という本にまとめられています。

流山で現在確認できるもっとも古い庚申塔は、寛文2年(1662年)に前ヶ崎の香取神社に設置されたものです。



古間木のいろいろな碑(白丸が元禄6年建立の庚申塔)

寺社以外に設置されたものとしては、八木中学校の近く、古間木の交差点に元禄6年(1693年)に設置されたものが目を引きま。庚申塔は村境や街道の目印としての役割を兼ねることがあったようです。

東部地域で庚申信仰が盛んだった様子がうかがえます。

参考資料：流山市教育委員会、流山市立博物館編集・発行
「流山庚申塔探訪(流山市立博物館調査研究報告書24)」
(1989年)

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

斜線は休館日 青は17:00まで開館

青枠はイベント

木の図書館カレンダー

休館日 7/21-8/31を除く

- ・月曜日(祝日の場合は火曜日)
- ・月末日(土・日・祝日を除く)

開館時間 火曜日～土曜日 :9時30分～19時

日曜日、祝日

7/21-8/31の月曜日、月末日 :9時30分～17時